

～伊万里市消防団の歴史～

- 明治22年 5月 伊万里町に私設消防組を設置
同 39年 4月 同上を公設に改革する
大正15年 各町村に公設消防組を設置
昭和14年 4月 各町村の消防組を警防団とする
同 19年 1月 伊万里町警防団の組織改正
4個分団 1,345 名
同 20年 5月 伊万里町警防団に常備消防部設置
同 22年10月 各町村の警防団を消防団とする
同 29年 4月 市制施行、伊万里市消防本部、伊万里市消防団発足
12個分団 3,200 名
同 35年 4月 消防団常備部廃止
同 45年 4月 消防団定数を 2,200 名とする
同 46年 1月 分団名称を町名分団名称に改める
同 50年 3月 消防団統合整備計画完了、消防車4台、積載車38台、
小型ポンプ80台、定員 1,200 名 消防庁長官表彰旗受領する。
同 55年 5月 大坪分団 新部設置、分団定員変更
同 59年 5月 黒川分団 部の再編
平成 3年 7月 女性消防団員（24名）辞令交付
同 8年 8月 第23回佐賀県消防操法大会「小型ポンプの部 二里分団優勝」
同 8年10月 牧島婦人消防隊、第12回全国婦人消防操法大会で「優秀賞」
同 10年 3月 日本消防協会より表彰旗受領
同 15年 7月 消防団定数を 1,100 名とする。
同 19年10月 消防団定数を 1,020 名とする。
同 20年 4月 南波多分団 部の再編
同 22年 4月 黒川分団 部の再編
同 22年10月 波多津分団 1 部に消防団救助資機材搭載型車両配備
同 24年 2月 大坪分団 10 部に消防団多機能型車両配備
同 26年 4月 大川分団 部の再編
同 27年 4月 伊万里分団発足 ※旧伊万里分団と旧牧島分団の統合再編
令和 2年 4月 消防団定数を 928 名とする。
同 4年 3月 伊万里分団 5 部に救助資機材・小型動力ポンプ搬送車配備
同 6年 3月 山代分団 1 部に消防団救助資機材搭載型車両配備
日本消防協会より表彰旗受領
同 7年 4月 消防団定数を 829 名とする。